

（４）外部指導者制度

外部指導者とは、学校の授業や部活動の指導およびその補助のために登用される学校外の人材のことである。平成 22 年に策定されたスポーツ立国戦略において「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」が掲げられ、少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図ることを推進している。外部指導者を活用することで、学校での体育や運動・スポーツの指導を多様化させ、充実することができると考えられる（文部科学省、2010）。そこで、外部指導者の認知度や実施経験についてたずねた。

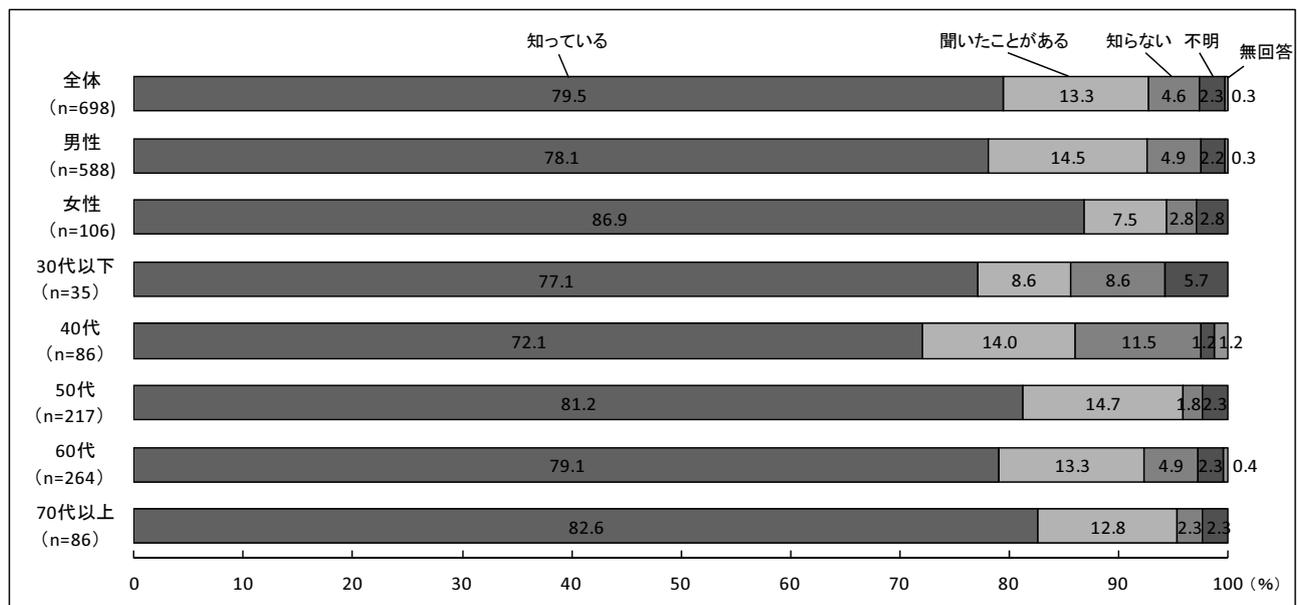
4-1 外部指導者制度の認知度

「外部指導者について知っていますか」という問いに対し、「知っている」「聞いたことがある」「知らない」の 3 件法で回答を得た。全体では、外部指導者について「知っている」と回答した者は 79.5%と最も多く、「聞いたことがある」と回答した 13.3%とあわせると、9 割以上が「外部指導者」という言葉を耳にしているようである（図 4-1）。

性別にみると、「知っている」と回答した男性が 78.1%であったのに対し、女性は 86.9%と男性よりも高い割合を示した。

年代別にみると、いずれの年代においても「知っている」と回答した者は 7 割から 8 割にのぼり、「聞いたことがある」を含めるとおよそ 9 割を占める。また、年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向が示された。

【図 4-1】「外部指導者」制度の認知度（全体・性別・年代別）



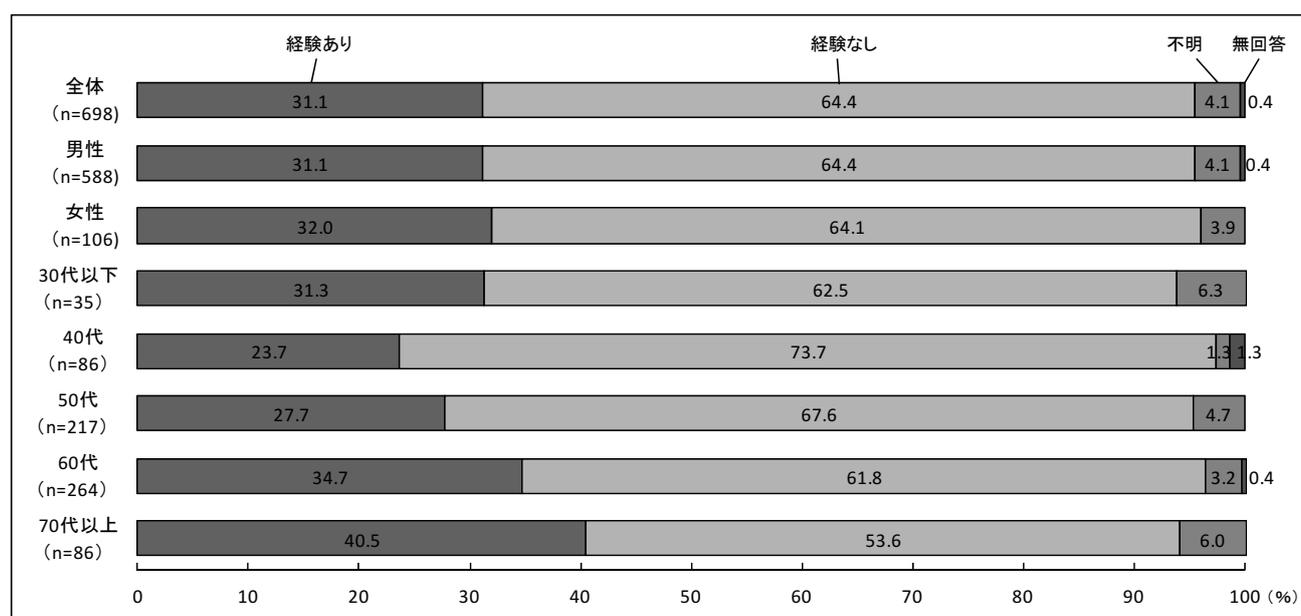
4-2 外部指導者の経験の有無

外部指導者について「知っている」「聞いたことがある」と回答した者に対して、外部指導者の経験があるかどうかたずねた。全体では、外部指導者の「経験がある」は31.1%、「経験がない」は64.4%であり、6割以上の指導者が外部指導者としての指導経験がないことが示された（図4-2）。

性別にみると、男女のいずれも同様の値を示し、経験の有無に差はみられなかった。年代別にみると、「経験がある」が40代は23.7%、50代が27.7%であるのに対し、60代が34.7%、70代以上が40.5%と年代が高くなるにつれ、指導経験率が高くなる。

先に示した外部指導者制度の認知度より、「知っている」と回答した者が79.5%、「聞いたことがある」と回答した者が13.3%であり、9割以上が外部指導者制度について知っているもしくは聞いたことがあると回答しているものの、実際に指導経験がある指導者は3割程度にとどまっていることが明らかとなった。

【図4-2】外部指導者の経験の有無（全体・性別・年代別）



4-3 外部指導者として指導している種目と指導内容

外部指導者の経験がある者に対して、指導している種目および指導内容についてたずねた。「バレーボール」が13.5%と最も多く、次いで「剣道」が13.0%、「バスケットボール」10.1%、「柔道」7.7%、「サッカー」7.2%と続く（表4-1）。

性別にみると、男性は「剣道」が14.4%と最も多く、次いで「バレーボール」が13.8%、「バスケットボール」12.1%、「サッカー」「柔道」8.6%、「軟式野球」6.9%と続く。一方、女性は「なぎなた」が15.2%と最も多く、次いで「バレーボール」「水泳」が12.1%、「剣道」「卓球」「スキー」6.1%であった。男女ともに上位を占める運動・スポーツ種目は「剣道」「なぎなた」という武道系の種目と「バレーボール」であった。

【表4-1】外部指導者として指導している種目（全体・性別）

全体 (n=207)			男性 (n=174)			女性 (n=33)		
順位	指導種目	%	順位	指導種目	%	順位	指導種目	%
1	バレーボール	13.5	1	剣道	14.4	1	なぎなた	15.2
2	剣道	13.0	2	バレーボール	13.8	2	バレーボール	12.1
3	バスケットボール	10.1	3	バスケットボール	12.1		水泳	12.1
4	柔道	7.7	4	サッカー	8.6	4	剣道	6.1
5	サッカー	7.2		柔道	8.6		卓球	6.1
6	軟式野球	5.8	6	軟式野球	6.9	7	スキー	6.1
7	ソフトボール	5.3	7	ソフトボール	6.3		複合種目	3.0
8	空手道	4.8	8	空手道	5.7		柔道	3.0
	陸上競技	3.8		9	陸上競技		4.6	ソフトテニス
9	スキー	3.8	10	スキー	3.4		体操	3.0
	卓球	3.4		バドミントン	3.4		バドミントン	3.0
11	バドミントン	3.4	12	卓球	2.9		運動遊び(体づくり)	3.0
	ソフトテニス	2.9		ソフトテニス	2.9		ゲートボール	3.0
13	水泳	2.9	14	水泳	1.1		ハンドボール	3.0
	なぎなた	2.4		硬式テニス	1.1		リズムトレーニング	3.0
16	複合種目	1.0	16	複合種目	0.6			
	体操	1.0		少林寺拳法	0.6			
	硬式テニス	1.0		体操	0.6			
19	少林寺拳法	0.5	16	クロスカントリースキー	0.6			
	運動遊び(体づくり)	0.5		ラグビー	0.6			
	クロスカントリースキー	0.5		ティーボール	0.6			
	ラグビー	0.5		硬式野球	0.6			
	ティーボール	0.5						
	ゲートボール	0.5						
	硬式野球	0.5						
	ハンドボール	0.5						
リズムトレーニング	0.5							

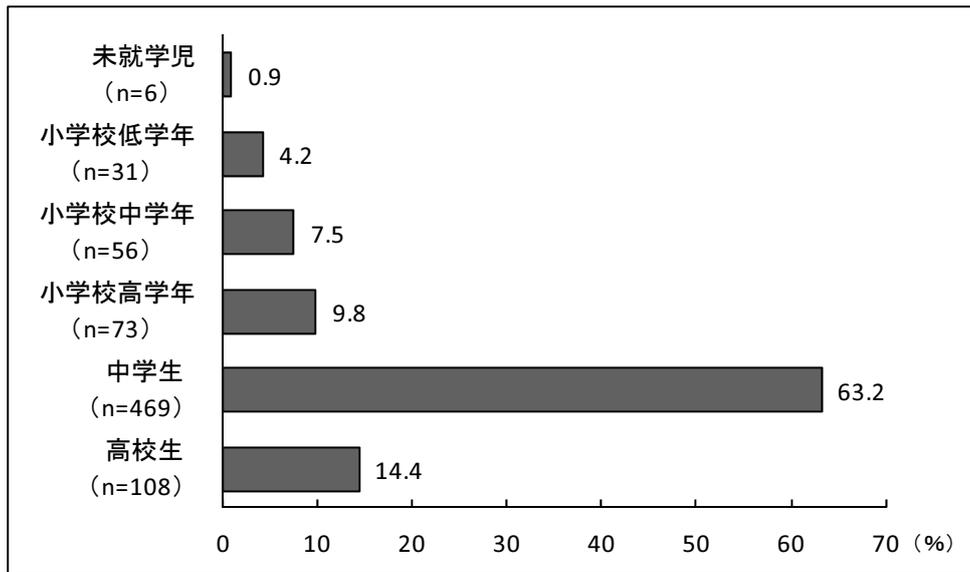
外部指導者として指導している子どもの年代は、「中学生」が63.2%と最も多く、次いで「小学生」が21.5%、「高校生」14.4%、「未就学児」0.9%と続く（図4-3）。活動場所については「部活動」が81.6%と8割以上を占めており、「体育授業」は13.2%であった（図4-4）。指導頻度については、「週1回以上週2回未満（52～103回/年）」が18.0%と最も多く、次いで「週1回未満（1～51回/年）」が17.4%、「週2回以上週3回未満（104～155回/年）」16.0%と続いた（表4-2）。

また、体育授業および部活動において指導している種目を表4-3に示した。体育授業において指導している種目は「剣道」が17.9%と最も多く、次いで「スキー」が14.3%、「柔道」「水泳」10.7%と続く。一方、部活動において指導されている種目は「バレーボール」が14.5%と最も多く、次いで「バスケットボール」「剣道」が11.6%、「サッカー」8.1%、「柔道」7.0%、「ソフトボール」6.4%と続く。

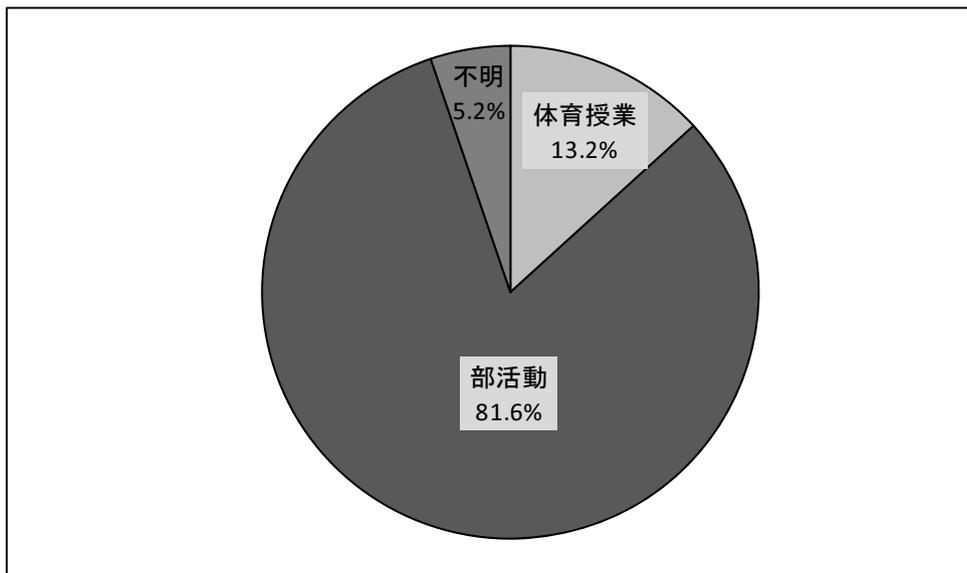
指導種目において、「バレーボール」「バスケットボール」「サッカー」「軟式野球」など中学校で行われる代表的な運動部活動種目や「剣道」「柔道」などの武道系種目が上位を占めており、指導している子どもの年代が「中学生」63.2%である今回の結果からは、外部指導者が中学校の部活動において多く活用されている実態が明らかとなった。

文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（2010）における外部指導者を活用した取組の事例報告によると、小学校では水泳教室やスキー教室などの実施にあたって専門的な知識と技能を要求される場合に外部指導者を活用している事例が示されている。また中学校では、専門的な指導者を運動部活動の場で活用している場合や学習指導要領の改訂によって新たに必修化される「武道」の授業において外部指導者を活用している事例が多く示されている。今後、さらに「外部指導者」を充実させていくことで、学校体育・運動部活動が活性化し、子どもたちの豊かなスポーツライフを実現することにつながると考えられる。

【図 4-3】 外部指導者として指導している子どもの年代



【図 4-4】 外部指導者として指導している活動場所



【表 4-2】 外部指導者としての指導頻度

指導頻度	n	%
週1回未満(1~51回/年)	37	17.4
週1回以上週2回未満(52~103回/年)	38	18.0
週2回以上週3回未満(104~155回/年)	34	16.0
週3回以上週4回未満(156~207回/年)	26	12.3
週4回以上週5回未満(208~259回/年)	24	11.3
週5回以上週6回未満(260~311回/年)	13	6.1
週6回以上週7回未満(312~363回/年)	10	4.7
週7回以上(364回/年)	1	0.5
不明	29	13.7

【表 4-3】 外部指導者として体育授業および部活動において指導している種目

体育授業 (n=28)			部活動 (n=173)		
順位	指導種目	%	順位	指導種目	%
1	剣道	17.9	1	バレーボール	14.5
2	スキー	14.3	2	バスケットボール	11.6
3	柔道	10.7		剣道	11.6
	水泳	10.7	4	サッカー	8.1
5	バレーボール	7.1	5	柔道	7.0
	なぎなた	7.1	6	ソフトボール	6.4
8	サッカー	3.6	7	軟式野球	5.8
	複合種目	3.6	8	空手道	5.2
	バスケットボール	3.6	9	陸上競技	4.7
	空手道	3.6	11	卓球	3.5
	体操	3.6		ソフトテニス	3.5
	運動遊び(体づくり)	3.6		バドミントン	3.5
	クロスカントリースキー	3.6	14	スキー	2.3
			15	水泳	1.2
				硬式テニス	1.2
				なぎなた	1.2
			18	複合種目	0.6
				少林寺拳法	0.6
				体操	0.6
				ラグビー	0.6
				ゲートボール	0.6
				硬式野球	0.6
				ハンドボール	0.6